

高めよう！ 人権意識 心のかけ橋



2026年9月 発行元：加茂交流館
〒720-2417 福山市加茂町芦原 491-1
TEL (084) 972-5541
E-mail: kamo-krk@city.fukuyama.hiroshima.jp
FAXの方は、北部地域振興課あてに送信してください。
FAX (084) 976-8150

交流館では、みんなが交流し、つながり合うことを目的としてさまざまな講座を行っています。

10月21日は、国際反戦デーです

「国際」とつきますが日本だけの記念日です。

60年前の1966年のこの日、
日本から世界に大きな波が広がりました。

1964年ごろから南北で対立していたベトナムの戦争が激化しており、先の戦争経験から、戦争は問題の解決手段にはならないと日本の労働者が中心になって、反戦の声をあげました。このとき、反戦ストライキには211万人が参加し、308万人が職場で集会を行ったそうです。

この運動は国内外に呼びかけられ、世界各国の労働者にもひろがり、世界中からメッセージが届けられたそうです。

これをきっかけに毎年10月21日が国際反戦デーになりました。



子育て交流事業

にんじんばたけ

～フリースペース～

☆と き 10月20日(火)

10:00 ~ 11:30

☆ところ 加茂交流館

★ 予約は不要です ☆対象 0歳～4歳くらい

あそびに
きてね♪



地域交流事業

チューボーですよ！

簡単で、おいしいメニュー教えてもらいましょう。

☆と き 9月29日(火) 9:30～12:00

※ 講師 蔵本 博美さん(地域活動栄養士)

※ 材料費 500円 ※要申込み 【定員 20人】

※ もってくるもの エプロン、マスク、三角巾、
お手ふきタオル、お米半合



— みんなで見守る、こどもの未来 人権尊重の社会をめざして —

地域交流事業

福山 おもちゃびょういん・かも

こわれたおもちゃを治します！

☆と き 10月24日(土)

9:30 ~ 11:00

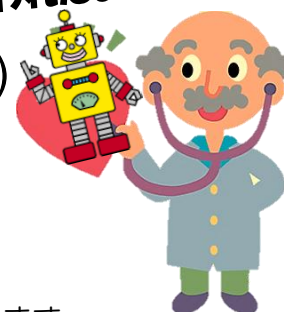
☆ところ 加茂交流館

★ 予約は不要です

※治療費は無料です

※診察の結果、治療できないおもちゃもあります

※部品交換など必要な場合は実費負担となります



また
あそんでね！

言葉の壁は、やさしさで低くなる

福山には60か国をこえる外国にルーツを持つ人が暮らしています。

やさしい日本語ってどんなもの？

○文法・言葉のレベルや文章の長さを見直し、伝わりやすくした日本語のことです。

○阪神・淡路大震災のとき、地震発生時の緊急速報や避難指示がわからず多くの外国人が被災しました。それをきっかけに、外国人にも早く正しい情報を伝えるための方法として、やさしい日本語の取り組みは始まりました。

○もともとは外国人向けの取り組みとして始まったやさしい日本語ですが、そのコミュニケーションのポイントを工夫することで、子どもや高齢者、障がいがある方など、多くの人にとって“やさしい”コミュニケーションになります。

伝わるってうれしいですね。



加茂交流館では、

生活上のさまざまな相談に応じています。

仕事や就職、生活や学校、福祉制度や人権侵害など

生活のなかでの困りごとの相談に応じています。



—こどもの未来へつなげるために 気付いたら 支えて 知らせて 見守って—

よくある表現

どそくげんきん
土足厳禁

じしん はっせい たかい
地震が発生しました、高台に
ひなん
避難してください

やさしい日本語

くつをぬいでください

じしん たか
地震です、高いところに逃げて
ください

やさしい日本語のポイント

- 一つの文章で伝えたいことはひとつにして、文章を短くする
- 漢語や敬語（尊敬語・謙譲語）は、簡単な表現にする
- 伝えたいことははっきり伝える（曖昧にしない）
- 写真やイラスト、ジェスチャーなど視覚的な補助を使う
- 話すときは、ゆっくりと相手の理解を確認しながら話す
- 書くときは、漢字にふりがなをつけ、分かち書きをする

やさしい日本語はこれだっていう“正解”はありません。相手の日本語レベルや理解に合わせて、日本語を調整することが大切です。

住民票などの個人情報の不正取得から守るために、第三者が申請した場合、登録者にお知らせしています。
*「登録型本人通知制度」が、福山市ホームページの「福山市電子申請サービス」から手続きしていただけます。
*スマートフォンなどをお持ちの人は、右の二次元コードを読み込むことで手続きが行えます。（対応機種のみ）



右の二次元コードをスマートフォンなどで読み取ると、加茂交流館の施設や事業・講座などを確認していただけます。

